

地域産業の影響力係数、感応度係数および 就業係数による成長率分析

杉 野 元 亮

はじめに

20世紀、私たちは経済社会の成長を可能にしたパラダイム（枠組み）における平等社会を構築してきた。しかし、21世紀の経済社会は中央集権型と対極的な分散型システムに移行していくと思われる。また、IT（情報技術）の発達は労働者に求められる能力を激変させ、経済の効率化という構造変化を起こさせる可能性が大きい。経済社会の情報化・サービス化の進展や技術革新の重要性も高まるであろう。

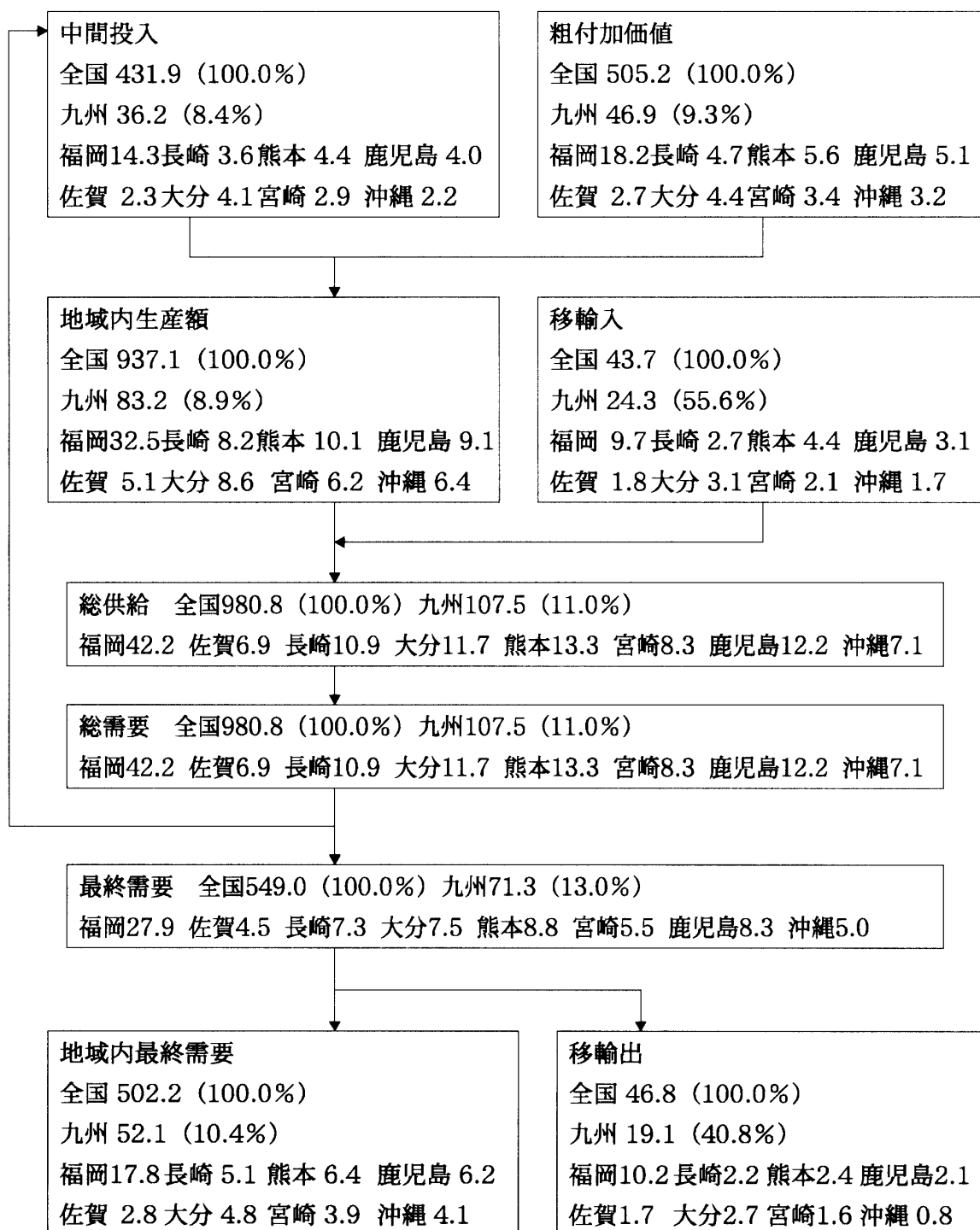
わが国において規制緩和が進み、将来、地域自治の尊重や地域の自立が促進される場合、各地域の経済的活力、潜在的な力、それぞれの役割や独自性などを十分に踏まえる必要がある。そのためには、まず、わが国における社会経済構造の変化が各地域の産業に及ぼしている影響を把握し、地域産業の現状を正確に認識することが重要である。この分析では九州各県の1990年および1995年の産業連関分析を通して、各県の産業構造の動向が就業構造にどのような変化をもたらしたか。さらに九州地域の将来の展望を影響力係数および感応度係数の成長率の動向で捉え、今後の地域政策や地域振興の基本的なあり方について言及する。

1、九州・沖縄地域の市場規模

九州・沖縄経済の市場規模の大きさは総供給と総需要の額で表わされ、1995年は107.5兆円であった。総供給の内訳として、地域内生産額は83.2兆円（総供給額の77.4%）、移輸入額は24.3兆円（総供給額の22.6%）となっている。全国の市場規模は総務庁編『平成7年（1995年）産業連関表』によると980.8兆円であるので、九州・沖縄の市場規模はその11%にあたる。九州・沖縄地

域の1995年の財貨・サービスの総需要額は、生産用の原材料、燃料などにあたる中間需要額が36.2兆円（総需要額の33.7%）、最終需要額が71.3兆円（総需要額の66.3%）である。さらに域内最終需要が52.1兆円（総需要額の48.5%）、移輸出額が19.1兆円（総需要額の17.8%）となっている（図1）。

図1、産業連関表による九州地域経済の循環 1995年（単位：兆円）



注) 四捨五入の関係で、内訳は必ずしも合計と一致しない。

2、 影響力係数と感応度係数の成長率分析

産業連関分析における産業の生産活動は、それによって生み出された財貨、サービスが最終需要を満たすために行われる。つまりすべての生産活動は各最終需要によって誘発されたものと見る。また、ある産業の財貨・サービスの生産に投入された原材料などの量をその財の生産量で除した比率を投入係数といい、投入係数は、ある財の生産に必要な生産要素の投入構造、生産技術を反映する。

投入係数がわかれば産業連関分析で必要な逆行列係数を導くことができる。その係数の列和は影響力係数を示し、ある部門に最終需要が発生したとき、産業全体に対する生産波及の相対的な大きさ（影響力）を示す。一般に中間投入率の高い部門（製造業、建設業、など）ほど影響力係数は大きい。また、それを横に行和で見ると感応度係数が分かる。感応度係数は（最終需要が増えたとき）他の部門からの影響力の受け方の強さを示す指標である。一般的に、この係数の高い産業は、広く各産業に対して、原材料やサービスを提供している産業（製造業、運輸業、商業、サービス業など）である。従って、地域変数として影響力係数、感応度係数を見ることで地域経済の特徴を把握することができる。

経済の潜在成長力や質を議論するには投入労働力や投下資本に対して生まれる経済の生産性に注目すべきである。なぜなら経済生産性の高さはその地域の産業の経済的競争力を表わしており、潜在成長力と直結しているからである。労働生産性が上がらなければ当然、経済成長率は低下していく。「潜在的成長率」はインプット（投入量）の伸び、「現実の経済成長率」はアウトプット（産出量）の伸びと言われる。つまり潜在成長率は、モノやサービスを産出するときに投入する資本、労働、技術の三つをどれだけの伸びで増やし続けられるかを示す。また、その経済活動の結果、どれだけのモノやサービスが生み出されたかを示すのが現実の成長率である。

経済社会構造の変化を受け九州各県の産業がどのように変化したかを影響力係数と感応度係数の絶対値の大きさでみる。影響力係数・感応度係数による産業分類の第1象限は影響力係数と感応度係数がともに平均値1より大きい産業。他産業への影響力も、他産業からの感応度も大きい。第2象限の影響力係数は1より小さいが、感応度係数は1より大きい産業。他産業への影響力は小さく、他産業からの感応度は大きい。第3象限は影響力係数と感応度係数がともに平均値より小さい産業。他産業への影響力も、他産業からの感応度も小さい。第4象限は影響力係数が1より大で、感応度係数は1より小さい産業。この分類に属する産業は、他産業への影響力は大きく、他産業からの感応度は小さい（図表1）。

また、それらの係数の年平均成長率をみることによって域内の他の産業に強く影響を及ぼしているか、また他の産業や県外の産業の影響を受けやすいかなどの強弱と傾向をみることができる。成長率分類における第1象限は影響力係数が上昇し感応度係数も上昇している場合。第2

象限は影響力係数の低下と感応度係数が上昇している場合。第3象限は影響力係数と感応度係数がともに低下している場合。第4象限は影響力係数の上昇と感応度係数の低下を表している。

全国の場合、影響力係数が高い係数は輸送機械と事務用品である。また感応度係数が高い産業はパルプ・紙・木製品、化学製品、鉄鋼、その他の製造工業品、商業、金融・保険、運輸、対事業所サービスである。影響力係数の成長率の高い産業は電力・ガス・熱供給と通信・放送で国内の他の産業に強い影響を与えている。また成長率が減少している繊維製品は海外の影響が強まり競争力の高まりが感じ取れる。感応度係数の成長率が大きく減少している産業は農林業、繊維製品、化学製品、石油・石炭製品、鉄鋼等では海外や他産業からの調達が少なくなり内生化していることが窺われる。感応度係数の成長率が増加している産業は商業、運輸、教育・研究であり、他産業や海外の産業の影響を受け安くなってきている。

福岡県の場合、鉄鋼産業は影響力係数と感応度係数はともに平均値1より大きく、他産業への影響力も、他産業からの感応度も大きい。しかし、感応度係数の成長率はマイナスで他部門からの影響が弱まっている。建設においては影響力係数と感応度係数はともに平均値を僅か上回っているが、影響力、感応度ともに弱まっている。電力・ガス・熱供給、通信放送は生活関連サービスの産業化や情報化の進展に呼応する形で他産業への影響力を強めている。パルプ・紙・木製品、輸送機械などは影響力係数、感応度係数ともにマイナス成長で海外の影響が強くなると同時に域内において自立化、内生化して来ている。

佐賀県では商業、公務、医療・保健・社会保障において感応度係数の成長率が増え他産業や県外の産業の影響が強まっている。特に医療分野においては影響力、感応度ともに高まる可能性がある。高齢化社会においてシニア層の関心が健康に向くなかで、大きな個人消費を誘発できる可能性を秘めている。

長崎県では林産物の影響力、感応度が弱まり、電力・ガス・水道の成長が高まり、他産業に対して影響力が強くなり、また他産業の影響も受けやすくなってきている。商業や金融・保険では他の部門に依存し影響を受けやすく不安定な状況が窺われる。

熊本県では繊維製品、化学製品と精密機械産業において域内の他産業への影響力が強まり、鉄鋼、金融・保険、不動産においては他産業の影響が弱まり内生化している。電力・ガス・熱供給、商業や教育・研究・医療・保健においては他産業の影響が強くなってきている。

大分県では精密機械、電力・ガス・熱供給、水道・廃棄物処理および通信・放送において他産業への影響力が強まり、パルプ・紙・木製品、鉄鋼、金属製品、一般機械、および商業の影響力が弱まってきている。また繊維製品、電力・ガス・熱供給、運輸産業においては経済動向を受け他産業の影響を強く受けている。石油・石炭製品、鉄鋼、非鉄金属産業では他産業の影響を受けにくくなってきている。

宮崎県では石油・石炭製品、非鉄金属、一般機械、電力・ガス・熱供給、運輸業の他産業への影響力が強まり、食料品、の影響が弱まってきている。感応度係数を見ると農林水産業、食料品、

化学製品産業において弱まり縮小均衡の状況が窺われる。金融・保険、運輸産業は経済の動きを反映して他産業の影響が強まっている。

鹿児島県では非鉄金属と電力・ガス・熱供給産業の他産業への影響が強まり、電力・ガス・熱供給、商業、金融・保険、教育・研究およびその他の公共サービス産業が他産業から影響を受けやすくなっている。農林水産業、食料品、パルプ・紙・木製品、不動産などが他産業の動きにあまり影響されなくなっている。

3、 影響力係数と就業係数の成長率分析

ある産業の産出額1単位あたり必要就業者数(雇用者数)を計算したのが就業係数(雇用係数)である。この係数が小さければ生産性が高く、大きければ生産増加に対する雇用が大きいことを表わしている。

図表2には域内の他産業への影響力が伸び、しかも生産性が高まっている産業が第4象限に描かれている。九州各県における各産業の就業係数成長率の変化からみた生産性格差の存在は、低生産性部門の改善が不可避となってきた。

九州各県における32部門の産業分類において、生産額や就業係数の変化から見た生産性が上昇(就業係数が低下)し、就業者が増加している産業は全産業の1/3程度であった。具体的には、医療・保健・社会保障、その他公共サービス、公務などであり、影響力・感応度分析において他の産業への影響も、また、他の産業からの感応度もともに小さい。つまり他の経済の動向に比較的左右されにくい産業部門が多かった。逆に、他産業の影響を受けやすいのは、商業、金融保険、対事業所サービスであった。すべての県で就業者の絶対数が減少している産業は、農林水産、パルプ、繊維、化学である。また、すべての県で就業者の絶対数が増加している産業は、食料品、建設、商業、公務、医療・保健・社会保障、対個人サービス、運輸、対事業所サービスであり、特に、運輸、公務、医療・保健・社会保障、商業、対個人サービスは絶対数が増え、生産性が向上している。建設において絶対数は増加しているが生産性は低下している。この建設を始めとして、各県産業の半数近くは生産性の急速な改善(生産性上昇率の向上)を図ることが求められており、それができなければ規模を縮小せざるを得ない状況にある。

また、九州全域で影響力係数の成長率が高い産業は電力・ガス・熱供給、水道・廃棄物処理、通信・放送である。しかも、これらの産業は生産性も高く、通信・放送以外は就業者の絶対数も増加している。影響力係数が伸び、就業係数で見た生産性が上昇している主な産業は、福岡県では通信・放送、精密機械、電力・ガス・熱供給、金属製品、医療・保健・社会保障、化学製品等である。佐賀県は石油製品、一般機械、通信・放送、医療・保健・社会保障等である。長崎県は電力・ガス・水道である。熊本県は精密機械、化学製品、電力・ガス・熱供給、通信・放送等である。大分県は電力・ガス・熱供給、通信放送、精密機械等である。宮崎県は運輸、通信・放送、電

力・ガス・熱供給、精密機械、その他の公共事業等である。鹿児島県は非鉄金属、精密機械、化学製品等である。これらの産業は消費者のニーズの多様化、情報化、女性就業の増加、人口の高齢化などを背景に生活関連や福祉関連のサービスの産業化に呼応するものである程度の差はあるが、このような傾向は決して九州地域特有のものでもなく全国的に見られる現象であり地域の特異性が薄れてきている。

4、能力開発と知的資本の蓄積

九州全域で経済社会の情報化、サービス化が進むと同時に、3次産業での雇用の増加と、女性の就業が増える傾向にある。これから情報やサービスそれ自体が商品化されるのは勿論のこと、今後、産業活動の中間投入要素としても、情報・サービスの比重が益々増加していく可能性は高い。製造業では製品の生産工程でより多くの情報・サービスの投入が必要となり「ソフト化」が進行する。さらにコンピュータ導入が肉体的作業を軽減し、高齢者、女性、身障者に対する労働需要が高まり、IT化によって自宅での就業を可能にすれば就業に対する男性の比較優位は低くなるであろう。

また、少子・高齢化や世帯構造の変化を受け、対個人サービス、教育、医療、保健、福祉分野での市場拡大が見込まれ、雇用吸収の可能性を秘めている。この分野での中高年の採用を増やすと同時に、労働力需給動向に応じた人材の育成、持続的な能力開発、社会人再教育、訓練制度の確立が肝要である。社会の変化や技術革新の加速化に伴い、労働力の質的向上が一層重要となる。

さらに、労働力の流動性を高めるシステムを作らなければならない。労働市場の流動性は能力給や企業間の年金の移し換えが容易にできるよう制度改革を行い、需要が弱まり技術が陳腐化する部門から需要が増え新技術を活用していく部門への労働力の円滑な移動が行われることが重要である。それは、サービス産業における人材不足（これによって3次産業の雇用吸収力が強まる）と全般的に過剰感が強い製造業の雇用縮小への対応でもある。ただ労働移動が難しいのは労働者の資質の違いが大きな原因である。また、少子・高齢化社会あるいは人口減少社会において労働生産性を高める努力はより重要になってくる。働く人の創意工夫、過去の技術の集積といった、それらを推進する人間の知恵・知識の重要性は一層増大してくるであろう。また、ITで伝わらない情報の重要性を考えると、交渉や情報交換の業務などの高賃金が得られるような仕事は結局代替できない可能性が高い。この分野ではフェイス・トゥ・フェイスの交流が重視される。いずれにしても、これからは人がより貴重な時代になる。

5、 地域振興策における効率と公平

一般的に経済成長率と地域間格差（公平）の関係は、利用可能な全資源を最も効率の高い地域に集中させれば生産性は引き上げられ国全体の経済成長率は高まるが、地域間格差は拡大するであろう。しかし効率の低い地域への資源の投入分散は生産性の低下を招くと同時に国全体の経済成長率を低下させ地域間格差は縮小するというように、両者の間にはトレード・オフの関係が存在する。

図2、 経済成長率と地域間公平

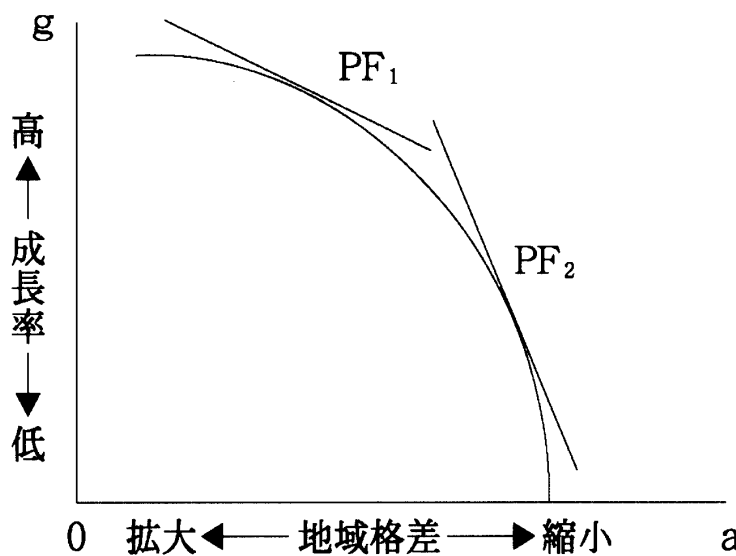


図2、の縦軸は成長率（例えばGNPの成長率）を表わす。縦軸の高い位置を選択した場合、効率を目標に成長志向の社会である。横軸は地域格差の尺度で、右へ行くほど格差は縮小し公平になる。選好関数が（PF₁）ならば相対的に高い成長率と、大きい格差（不公平）をもたらす。選好関数が（PF₂）ならば相対的に低い成長率と地域間の公平さを強調し、格差は小さい。政策立案者

（社会）は経済や社会状況により様々な選択をすることができる（Richardson, Harry W. [1978]、[1987]）。

競争的経済社会において経済的合理性や効率性を優先的に考えれば地域間格差は拡大方向へ進むであろう。しかしながら、地域間格差は各地域の競争優位な産業を中心とした発展を目指し、それによって得られた果実の再分配政策によって格差是正を行うことができる。地域における産業の振興を考える場合に大事なことは、各地域におけるリーディング産業は、人間の欲求や価値観の変化、人口構造の変化などを反映し時代とともに変化してきていることにある。しかし、地域の発展を主導する牽引力の強い産業が各地域に一様に分布することはあり得ない。このような意味において各地域が完全に均質であることは望めない。各産業は、各地域における将来の人口減少を念頭に労働投入の長期的な減少を技術や資本の投入増加でカバーし、潜在成長率の低下を防がなければならない。それと同時に労働生産性を上昇させる必要がある。そのためには地域間格差を恐れず、知のスピルオーバーを担う人材を育成、集積させ、成長の高い部門をサポートする政策が求められる。なぜなら成長の背景には需要があるからである。しかし、ある地域において特定産業部門を保護し、特定産業のみに固執した振興政策は危険を伴

う。その特定産業が斜陽化すれば、それにどっぷり依存した地域は衰退するであろう。時代の変化に対応した地域振興策が肝要である。

わが国における1990年代は、どちらかと言えば生産性上昇率の高い、多くの製造業が雇用者を減らし続けている一方で、生産性の低い建設業がごく近年まで就業者数を増やすという動きが見られた。このような動きは、経済全体の生産性上昇率を低下させ、経済活動水準の低下につながるものである。その結果、わが国の経済成長率は低下してきた。その一因は需要不足によるものと言えなくもないが、多くは生産性上昇率の低下にあるだろう。従って現在、地域経済における大きな課題の一つは建設業や非製造業などの生産性向上のための構造改革にある企業は労働コストの安い、即戦力の若年層の雇用を優先する。また、産業構造の変化は単純労働者の需要の減少をもたらしている。単純労働者の受け入れは雇用の調整弁としての役割があったが、その役割は終焉に近づいてきている。従って産業構造の健全な転換、制度や条件の改変が順調に進まなければ、各産業あるいは経済全体で見た生産性上昇率の伸び悩みは改善しないと考えられる。

おわりに

確かに、生産性を高めるための産業内のリストラ努力や産業構造の調整には、一時的な雇用の喪失など痛みが伴う。また、非効率な投資が増えれば、ますます生産性上昇率の回復は見込めない。各産業が勝ち残っていくには、生産性の向上と、そのための制度改革が不可欠であり、その一つが労働市場の効率化による雇用の安定政策と言えるだろう。と同時に、土木投資から知識への投資、共有型の知的資本は地域経済の生産性上昇、収穫逡増への体質改善を可能にする。つまり、いずれの地域にあっても社会経済の変化に対応した構造転換への努力が必要であり、競争原理の貫徹と経済的合理性を追求しないと淘汰される。競争が欠如したところにダイナミックな発展はあり得ない。

長期的に人口が減少する社会では労働力供給の制約は一段と強まる。多くの産業部門で省力化のための投資が活発化し、労働から資本への代替が進行する。また人口や労働力人口の集中偏在は過疎・過密の問題や自然環境との融合を阻害する面もあるが、経済の国際化の中で経済効率を全く無視するわけにもいかない。また、新しい生産要素として知識、情報といったソフトウェアの重要性が一層顕著になってくるであろう。したがってグローバル化した経済社会においては時代の変化に対応した取組みと、それぞれの地域における比較優位産業の特性を生かした上で、地域間の機能的連携を推し進め、地域経済社会の改善と発展を目指さなければならない。

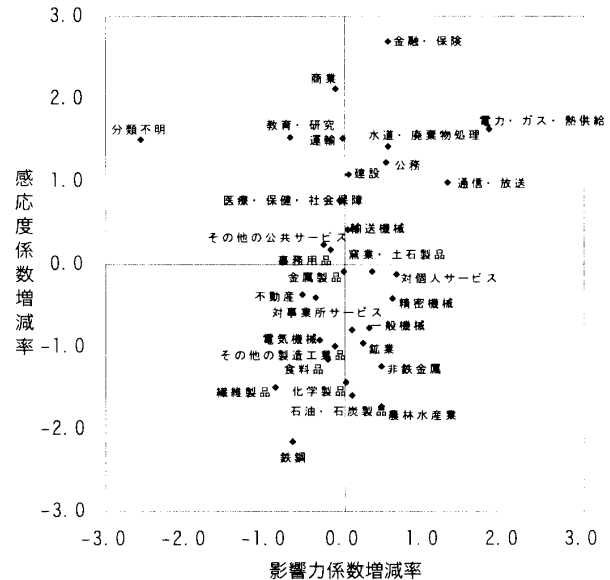
【参考文献】

- ・ 谷山新良 [1991] 『産業連関論』 大明堂
- ・ 土居英二、浅利一郎、中野親徳 [1996] 「はじめよう地域産業連関分析」 日本評論社
- ・ W. W. Leontief、[1941][第2版 1951] 山田勇、家本秀太郎訳 [1959] 『アメリカ経済の構造』 東洋経済新報社
- ・ 新飯田宏 [1978] 『産業連関分析入門』 東洋経済新報社
- ・ 宮沢健一 [1975] 『産業連関分析入門』 日本経済新聞社
- ・ 呼子 徹 [2000] 「地域経済構造の産業連関モデル」 鹿児島経済大学地域総合研究所編『市場化時代の地域経済』 日本経済評論社
- ・ Dixon, R. and A. P. Thirlwall [1975] "A Model of Regional Growth-rate Differences on Kaldorian Lines," Oxford Economic Papers, Vol.27, No.2, July, pp.201-214.
- ・ Kaldor, Nicholas [1970] "The Case for Regional Policies," Scottish Journal of Political Economy, Vol. 17, November, pp.337-348.
- ・ Richardson, Harry W. [1978] Regional and Urban Economics, Penguin Books. pp.226-229.
- ・ Richardson, Harry W. [1980] "Polarization Reversal in Developing Countries," Papers of the Regional Science Association, Vol.45, pp.67-85.
- ・ Richardson, Harry W. [1987] "The Goals of National Urban Policy," in R. J. Fuchs, G. W. Jones and E. M. Pernia (eds.), Urbanization and Urban Policies in Pacific Asia, Westview Press, pp.277-300.
- ・ 総務庁統計局「国勢調査報告」(平成2年および平成7年)
- ・ 総務庁 [1999] 「平成7年(1995年)産業連関表」
- ・ 総務庁 [1994] 「平成2年(1990年)産業連関表」
- ・ 福岡県企画振興部 [1999] 「福岡県の経済構造」
- ・ 各県産業連関表

図表1、影響力係数と感応度係数の成長率

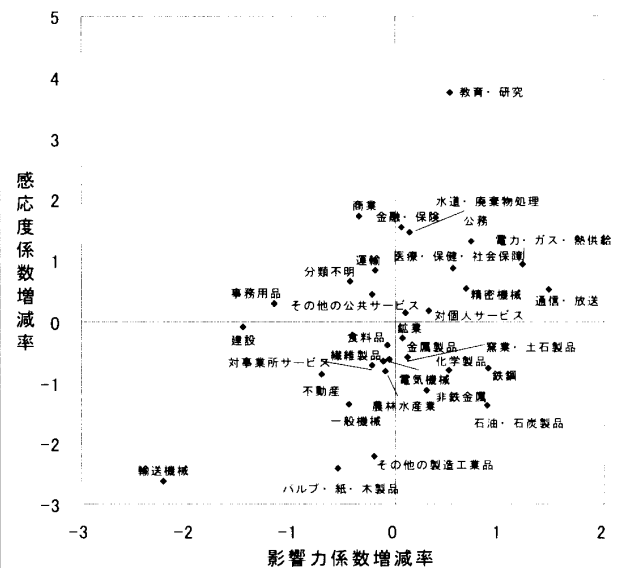
全国

	1995年		1990年		年平均成長率(%)・増減率	
	影響力係数	感応度係数	影響力係数	感応度係数	影響力係数	感応度係数
1 農林水産業	0.920588	0.877994	0.899671	0.957879	-0.460749	-1.728553
2 鉱業	0.956469	0.656112	0.945558	0.688559	0.2297264	-0.9607451
3 食料品	1.083649	0.7592	1.105311	0.804511	-0.2119138	1.1526928
4 繊維製品	1.088621	0.800043	1.137297	0.862204	-0.871037	1.4853862
5 ハルブ・紙・木製品	1.150266	1.414205	1.14543	1.472152	0.0842977	-0.7999381
6 化学製品	1.148602	1.399702	1.148194	1.50466	0.0071058	-1.4357455
7 石油・石炭製品	0.736117	0.866411	0.732761	0.938606	0.0914314	-1.5879845
8 窯業・土石製品	0.905721	0.755649	0.979061	0.759105	0.338033	-0.0912209
9 鉄鋼	1.351778	1.598733	1.396921	1.7823	-0.6548418	-2.1504063
10 非鉄金属	1.080779	0.907125	1.056254	0.965514	0.4601231	1.2398565
11 金属製品	1.119638	0.843271	1.120453	0.847041	-0.0145519	0.0891747
12 一般機械	1.166504	0.800173	1.148946	0.831802	0.3037853	-0.7723316
13 電気機械	1.156993	0.971911	1.175846	1.017599	0.3227479	-0.914532
14 輸送機械	1.447328	1.078006	1.444718	1.055806	0.0361055	-0.4164682
15 精密機械	1.07065	0.608549	1.048243	0.621406	0.5821762	-0.4172713
16 その他の製造工業品	1.091164	1.462068	1.09807	1.53659	-0.1261569	0.9893495
17 建設	1.046209	0.807455	1.043437	0.764666	0.0542233	1.0949146
18 電力・ガス・熱供給	0.889658	1.10007	0.810852	1.014121	1.8104349	1.64034
19 水道・廃棄物処理	0.835355	0.686748	0.813188	0.639717	0.5393384	-1.4289436
20 商業	0.785119	1.827145	0.780719	1.645281	-0.1167695	2.1190077
21 金融・保険	0.80762	1.547768	0.785846	1.355215	0.5481128	-2.6926066
22 不動産	0.62966	0.84709	0.66842	0.862766	-0.5371419	-0.3680596
23 運輸	0.962162	1.735702	0.963608	1.609075	0.0300302	1.5265843
24 通信・放送	0.812842	0.849816	0.762537	0.809138	1.288404	0.9858351
25 公務	0.832334	0.599459	0.811066	0.563665	0.5190297	1.2389619
26 教育・研究	0.733186	0.961558	0.758055	0.890622	-0.6806274	1.5402773
27 医療・保健・社会保障	0.934358	0.552229	0.937438	0.531534	-0.0657975	0.7672174
28 その他の公共サービス	0.843438	0.574921	0.854492	0.568147	-0.2600761	0.2573302
29 対事業所サービス	0.920872	2.15259	0.937913	2.196927	-0.3680513	0.4069258
30 対個人サービス	0.910816	0.618933	0.882226	0.620812	0.6398915	-0.1252789
31 事務用品	1.512399	0.601405	1.525732	0.596181	-0.1753893	0.1746378
32 分類不明	0.941649	0.740159	1.072137	0.686378	-2.5621364	1.5201694



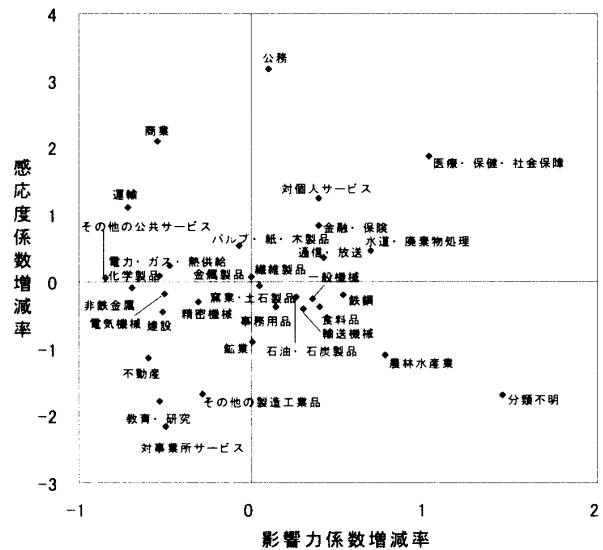
福岡

	1995年		1990年		年平均成長率(%)・増減率	
	影響力係数	感応度係数	影響力係数	感応度係数	影響力係数	感応度係数
1 農林水産業	0.897675	0.823314	0.901773	0.857314	-0.0910533	-0.8060655
2 鉱業	1.092302	0.86153	1.086906	0.855224	0.0980944	0.1470371
3 食料品	0.983267	0.7873	0.986958	0.802372	-0.0749076	-0.3785411
4 繊維製品	0.94653	0.740839	0.951909	0.765537	-0.1174829	-0.6537382
5 ハルブ・紙・木製品	0.903867	0.920049	1.02142	1.039051	0.5454212	2.4033707
6 化学製品	1.025893	0.765239	1.000177	0.796106	0.5090205	-0.7877635
7 石油・石炭製品	1.025012	0.747597	0.980967	0.800663	0.882285	-1.3621589
8 窯業・土石製品	1.08927	0.807228	1.08301	0.83117	0.1153374	-0.5828586
9 鉄鋼	1.347827	1.422765	1.289518	1.478643	0.8884265	-0.7674919
10 非鉄金属	0.981838	0.730361	0.967256	0.772801	0.2997108	1.1249209
11 金属製品	1.092677	0.829286	1.080993	0.840053	0.0657208	-0.2595899
12 一般機械	1.02179	0.760741	1.044511	0.814678	-0.4388909	-1.3696579
13 電気機械	1.006252	0.74731	1.008982	0.770684	-0.0541726	-0.6140736
14 輸送機械	0.965243	0.793168	1.079791	0.905812	-2.2178929	2.6209748
15 精密機械	0.985493	0.721133	0.952599	0.701807	0.6812699	0.5447815
16 その他の製造工業品	0.961808	0.973992	0.971472	1.083311	-0.1997522	2.2138075
17 建設	1.008747	1.047805	1.085392	1.05235	-1.4570925	-0.0865277
18 電力・ガス・熱供給	1.09999	1.191429	1.035151	1.136978	1.2224876	0.9399816
19 水道・廃棄物処理	0.955493	0.885434	0.948818	0.823336	1.103971	1.4648968
20 商業	0.93656	1.718945	0.953441	1.578537	-0.3482168	1.7188053
21 金融・保険	0.944893	1.559143	0.942135	1.444446	0.0584794	1.5399459
22 不動産	0.817357	1.063046	0.846837	1.047502	-0.7012816	-0.8635877
23 運輸	1.069549	1.81816	1.080031	1.744148	-0.1948635	0.8346402
24 通信・放送	1.003125	1.037124	0.932652	1.010509	1.4675293	0.5213007
25 公務	0.934604	0.787953	0.901304	0.73841	0.728245	1.3072552
26 教育・研究	0.891026	1.231981	0.86798	1.025267	0.5254745	3.7447109
27 医療・保健・社会保障	0.914645	0.729515	0.890633	0.698525	0.5560803	0.8719588
28 その他の公共サービス	0.919983	0.752661	0.929994	0.736275	-0.2162248	0.4411952
29 対事業所サービス	0.980459	2.324819	0.991559	2.409832	-0.2248992	0.7157234
30 対個人サービス	0.960349	0.793214	0.953975	0.786538	0.3202567	0.1691832
31 事務用品	1.076743	0.778507	1.141252	0.767029	-1.1569584	0.2975091
32 分類不明	1.060338	0.908583	1.083305	0.879091	-0.4276595	0.662139



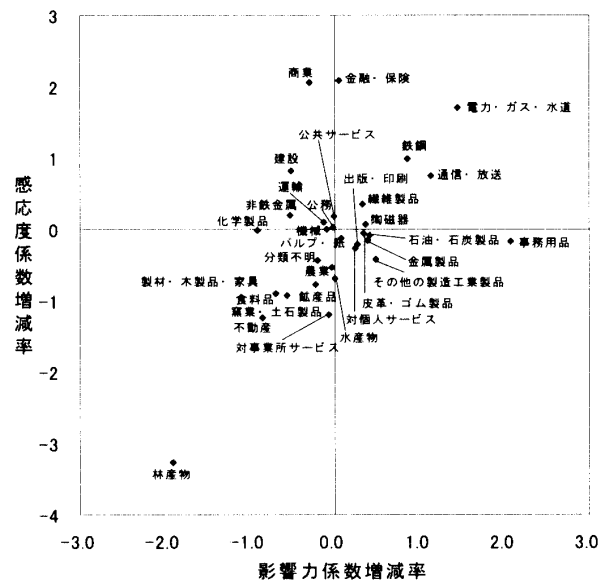
佐賀

	1995 年		1990 年		年平均成長率(%)・増減率	
	影響力係数	感応度係数	影響力係数	感応度係数	影響力係数	感応度係数
1 農林水産業	0.997148	0.958007	0.959492	1.012178	0.7728759	-1.0940639
2 鉱業	1.168868	0.854107	1.168492	0.893383	0.0064348	-0.8951475
3 食料品	1.081926	0.840282	1.060796	0.856053	0.3952434	-0.3712041
4 繊維製品	0.958664	0.774588	0.958848	0.771504	-0.0038382	0.0798202
5 ハルブ・紙・木製品	1.031313	0.980903	1.035042	0.95523	0.0721591	0.5318378
6 化学製品	1.033329	0.785538	1.061305	0.781964	0.5328484	0.0912442
7 石油・石炭製品	1.078754	0.775075	1.064819	0.783756	0.2803752	-0.222511
8 窯業・土石製品	1.089017	0.888318	1.086535	0.891092	0.0456448	0.0623384
9 鉄鋼	0.951766	0.763684	0.926993	0.771117	0.5288574	0.1935329
10 非鉄金属	0.927233	0.768577	0.960163	0.772099	0.6955335	0.0913987
11 金属製品	0.923841	0.883421	0.93511	0.877916	-0.2421901	0.1250973
12 一般機械	0.971993	0.810452	0.955114	0.821141	0.3509724	0.2617113
13 電気機械	0.968661	0.769079	0.993406	0.775974	0.5032243	0.1783472
14 輸送機械	0.913392	0.754835	0.899846	0.770295	0.2988312	0.4046665
15 精密機械	0.979169	0.749732	0.994439	0.760944	0.3090117	0.2964389
16 その他の製造工業品	0.996436	0.970875	1.010835	1.056721	0.2865305	1.6802884
17 建設	1.023623	0.985548	1.050574	1.008344	0.5184193	0.4562924
18 電力・ガス・熱供給	1.067447	1.166099	1.093226	1.152555	0.4761258	0.2339634
19 水道・廃棄物処理	1.00951	0.87142	0.975449	0.85137	0.6908754	0.4666303
20 商業	0.956977	2.043339	0.983543	1.841912	0.5461432	2.0973123
21 金融・保険	0.977755	1.692659	0.958975	1.623008	0.3886357	0.8439301
22 不動産	0.899531	0.911506	0.927047	0.965532	0.6008029	1.1450156
23 運輸	1.056977	1.926182	1.095713	1.822927	0.7172622	1.1080207
24 通信・放送	0.977293	1.036688	0.957015	1.018499	0.4200238	0.3546482
25 公務	0.931136	0.946468	0.926592	0.809631	0.097888	3.1724542
26 教育・研究	0.883029	1.119321	0.906966	1.22522	0.5335052	1.7917178
27 医療・保健・社会保障	0.97792	0.836009	0.92937	0.761928	1.0236221	1.8730723
28 その他の公共サービス	0.930932	0.874033	0.971225	0.871769	0.8438579	0.0518865
29 対事業所サービス	0.963187	1.636748	0.987655	1.825241	0.5004609	2.1564232
30 対個人サービス	1.000139	0.888611	0.981102	0.835212	0.3850964	1.2471931
31 事務用品	1.108426	0.81908	1.100688	0.834486	0.1402092	0.3719905
32 分類不明	1.164622	0.918818	1.083706	1.001004	1.4506193	1.6988108



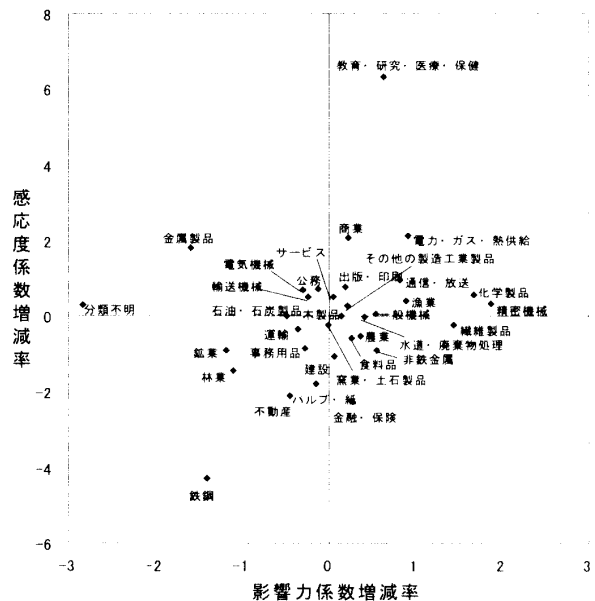
長崎

	1995 年		1990 年		年平均成長率(%)・増減率	
	影響力係数	感応度係数	影響力係数	感応度係数	影響力係数	感応度係数
1 農業	0.997131	0.986823	0.980509	1.012875	0.0281237	-0.5399624
2 林産物	1.020818	0.933431	1.123688	1.102322	1.9019182	3.2714341
3 水産物	0.930412	0.829344	0.930245	0.857237	0.0035902	0.6833723
4 鉱産品	1.09169	0.873108	1.103835	0.907796	0.2210259	0.7761805
5 食料品	1.1475	0.846852	1.187906	0.88623	-0.6897389	0.50348923
6 繊維製品	1.056498	0.91425	1.039246	0.898184	0.329827	0.3552116
7 製材・木製品・家具	1.045086	0.781281	1.096714	0.809701	0.9507499	0.7120561
8 ハルブ・紙	0.944233	0.873805	0.94062	0.879566	0.0767039	0.131341
9 出版・印刷	0.935063	0.83295	0.922269	0.841807	0.2759193	0.2113195
10 皮革・ゴム製品	0.961653	0.744248	0.945129	0.74621	0.3472466	0.0526411
11 化学製品	1.007785	0.752235	1.054975	0.752917	0.9110687	0.0181228
12 石油・石炭製品	1.001481	0.753291	0.981092	0.75632	0.4122263	0.080227
13 陶磁器	0.985533	0.749111	0.967847	0.746504	0.3628285	0.0697482
14 窯業・土石製品	1.096071	0.855308	1.12694	0.896082	0.5539406	0.9270816
15 鉄鋼	0.982182	0.843501	0.940759	0.80289	0.8655167	0.991753
16 非鉄金属	1.007834	0.756535	1.034644	0.749325	0.5237025	0.1917034
17 金属製品	0.956197	0.812667	0.937643	0.81912	0.3926625	0.1500582
18 機械	0.971609	0.833342	0.976277	0.833322	0.095812	0.00048
19 その他の製造工業製品	0.997625	0.79453	0.973785	0.811663	0.4849102	0.4257807
20 建設	0.999518	1.025649	1.025258	0.984886	0.5072373	0.8143976
21 電力・ガス・水道	1.083261	1.419805	1.007922	1.304987	1.4521457	1.7008314
22 商業	0.955499	1.860041	0.96984	1.67949	0.2975044	2.063162
23 金融・保険	0.975208	1.753967	0.972526	1.582128	0.0550946	2.083596
24 不動産	0.852558	0.97798	0.88946	1.040544	0.8486376	1.2325355
25 運輸	1.050348	1.796443	1.065924	1.787996	1.236915	0.0943076
26 通信・放送	1.001774	1.062515	0.946985	1.023949	1.1312397	0.742181
27 公務	0.945414	0.82561	0.946384	0.824347	0.0295075	0.0306237
28 公共サービス	0.894427	1.03985	0.894448	1.030606	-0.0084696	0.1787494
29 対事業所サービス	0.982649	1.908143	0.985952	2.029957	0.0678912	1.2008345
30 対個人サービス	1.012636	0.813951	1.009194	0.824962	0.2475629	0.2683823
31 事務用品	1.029957	0.805045	0.921481	0.811714	2.0714333	0.1648617
32 分類不明	1.098551	0.94639	1.1095	0.967363	0.1981519	0.4374218



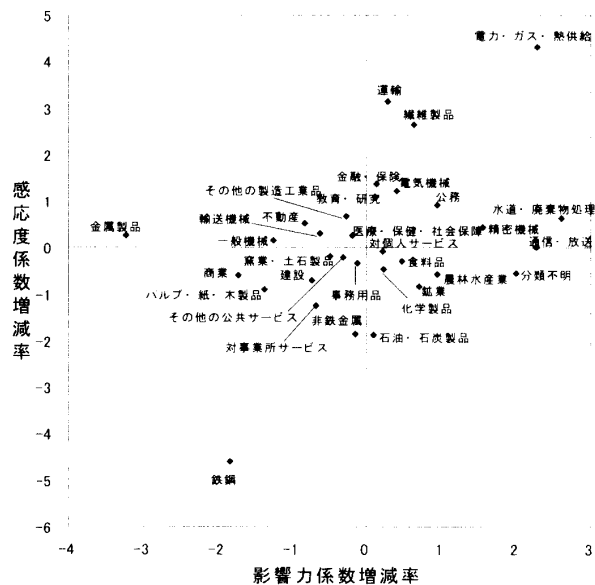
熊本

	1995 年		1990 年		年平均成長率 (%) : 増減率	
	影響力係数	感応度係数	影響力係数	感応度係数	影響力係数	感応度係数
1 農業	0.987225	1.108328	0.969493	1.137691	0.3631523	-0.5215989
2 林業	1.130448	1.208815	1.194963	1.299085	1.1638861	1.4300686
3 漁業	0.998667	0.828036	0.955406	0.811609	0.8896341	0.4015628
4 鉱業	1.167744	0.950916	1.239354	0.99514	-1.1832755	-0.9050337
5 食料品	1.18721	0.924269	1.172063	0.952208	0.2571415	-0.5938366
6 繊維製品	0.9961	0.755346	0.927512	0.764751	1.4370664	0.2471814
7 木製品	1.196197	0.825359	1.187832	0.82436	1.1404498	0.0096713
8 ハルブ・紙	0.966888	1.039561	0.974135	1.13756	0.1492332	1.7856079
9 出版・印刷	0.952734	0.892099	0.943554	0.857907	0.1938306	0.7846909
10 化学製品	1.011959	0.824925	0.931698	0.802580	1.6683889	0.5505293
11 石油・石炭製品	1.031967	0.745509	1.057138	0.74495	-0.481969	0.0150032
12 窯業・土石	1.179155	0.921879	1.17977	0.933294	-0.0104279	-0.2458231
13 鉄鋼	0.913019	0.867431	0.982212	1.078795	-1.4072512	4.2675436
14 非鉄金属	0.946384	0.740573	0.920808	0.774795	0.5494411	0.8994162
15 金属製品	0.930827	0.833371	1.008221	0.761832	-1.3846941	1.8112652
16 一般機械	0.960431	0.758871	0.935054	0.757162	0.5369939	0.0451016
17 電気機械	0.981436	0.80021	0.986045	0.773276	-0.2950764	0.687868
18 輸送機械	0.995289	0.868589	1.007127	0.846897	0.2361977	0.5071009
19 精密機械	0.981198	0.734615	0.894217	0.722923	1.8738564	0.3213021
20 その他の製造工業製品	0.963031	0.839477	0.952957	0.828409	0.2105377	0.2657943
21 建設	1.064705	0.910215	1.061474	0.960256	0.0608036	1.0645734
22 電気・ガス・熱供給	1.088182	0.906704	0.963439	0.816016	0.9120301	2.1300893
23 水道・廃棄物処理	0.89665	0.89718	0.881498	0.810237	0.4084934	-0.0128144
24 商業	0.983265	1.96546	0.972483	1.772566	0.2213763	2.0874567
25 金融・保険	0.912248	1.407671	0.900064	1.578308	0.2692921	2.2630057
26 不動産	0.813369	0.971597	0.831936	1.079854	-0.4502953	-0.0906371
27 運輸	1.019558	2.058646	1.037785	2.095558	0.3537615	0.3547967
28 通信・放送	0.944985	0.963918	0.906905	0.918795	0.8260199	0.9634758
29 公務	0.890092	0.786382	0.808605	0.758956	-0.1230035	0.715158
30 教育・研究・医療・保健	0.8952	1.208823	0.867269	0.889935	0.635973	6.3165325
31 サービス	0.970723	2.015281	0.968341	1.964502	0.0491492	0.511702
32 事務用品	1.148268	0.759861	1.1643	0.792985	0.2769224	0.8497448
33 分類不明	0.966877	0.767513	1.116432	0.756242	2.8354619	0.2963479



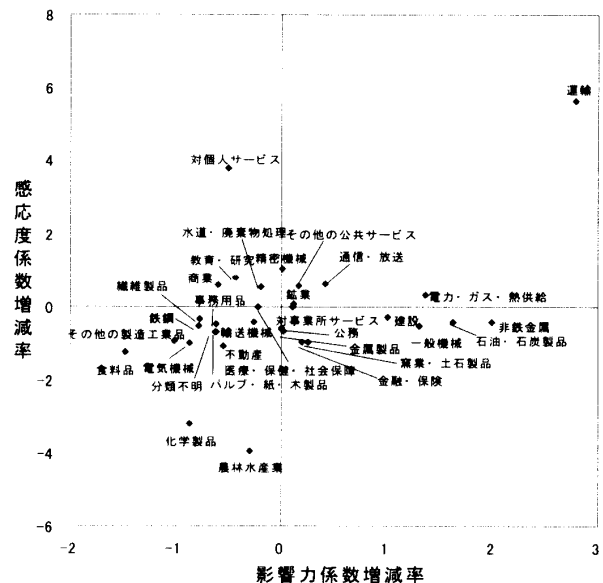
大分

	1995 年		1990 年		年平均成長率 (%) : 増減率	
	影響力係数	感応度係数	影響力係数	感応度係数	影響力係数	感応度係数
1 農林水産業	1.027916	1.150161	0.980842	1.183858	0.9419556	-0.5758688
2 鉱業	1.076012	0.817913	1.029301	0.853016	0.6966805	-0.8089247
3 食料品	1.097869	0.816528	1.072388	0.828315	0.4707665	0.2862358
4 繊維製品	0.994406	0.854293	0.963912	0.749739	0.6248555	2.6453663
5 ハルブ・紙・木製品	1.052941	0.931158	1.128143	0.974231	-1.3702399	-0.9003121
6 化学製品	1.103358	1.11707	1.09142	1.143755	0.21781	-0.4710376
7 石油・石炭製品	0.878662	0.992908	0.874716	1.090846	0.0800612	1.863828
8 窯業・土石製品	1.014802	0.836445	1.040275	0.844322	-0.4946044	0.1872878
9 鉄鋼	1.186194	1.623734	1.630794	2.054223	1.8387515	4.5944896
10 非鉄金属	0.942161	0.719925	0.949575	0.790395	-0.156644	1.8503819
11 金属製品	1.035005	0.798951	1.219212	0.788252	-3.2228911	0.2699995
12 一般機械	0.984267	0.764475	1.048237	0.758182	-1.2494525	0.1575291
13 電気機械	1.000036	0.794396	0.980236	0.747823	0.4007593	1.2156448
14 輸送機械	0.999296	0.758527	1.031166	0.747171	-0.6259219	0.3021419
15 精密機械	1.001716	0.762177	0.927201	0.74543	1.558001	0.4453403
16 その他の製造工業製品	0.965389	0.893462	0.979118	0.86381	0.2820223	0.6773027
17 建設	0.979567	0.949239	1.016478	0.979822	0.7370375	0.6950879
18 電気・ガス・熱供給	1.048309	1.349208	0.936742	1.092556	2.2760306	4.310263
20 水道・廃棄物処理	1.047833	0.849817	0.921261	0.823621	2.6081546	0.628176
21 商業	0.859572	1.490379	0.937434	1.535352	1.7192211	0.5928203
22 金融・保険	0.838616	1.469912	0.932869	1.373286	0.1229088	1.3692115
23 不動産	0.832203	1.028091	0.867689	1.001063	-0.8316615	-0.534247
24 運輸	1.069692	1.791426	1.046212	1.53397	0.2752883	3.1517028
25 通信・放送	1.01389	0.992994	0.906088	0.992221	2.2737293	0.0155764
26 公務	0.933505	0.770332	0.890463	0.735631	0.448566	0.9261213
27 教育・研究	0.87673	1.041663	0.871859	0.98677	0.1114894	1.0886182
28 医療・保健・社会保障	0.971332	0.747071	0.981044	0.736918	0.1987819	0.2740469
29 その他の公共サービス	0.908714	0.771126	0.923425	0.779036	0.3206882	0.2039013
30 対事業所サービス	0.90261	1.618118	0.933965	1.722476	-0.680641	1.2422011
31 対個人サービス	0.971797	0.788248	0.961298	0.791612	0.2174858	-0.085136
32 事務用品	0.941695	0.790196	1.101411	0.803372	-0.1222512	-0.3901907
33 分類不明	0.899803	0.923058	0.815319	0.948626	1.191499	0.5449607



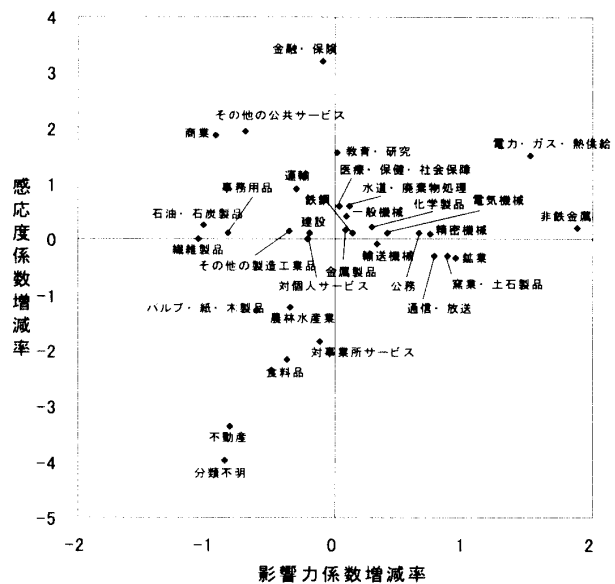
宮崎

	1995 年		1990 年		年平均成長率 (%) (増減率)	
	影響力係数	感応度係数	影響力係数	感応度係数	影響力係数	感応度係数
1 農林水産業	1.058219	1.288172	1.074264	1.574984	-0.3005169	3.9406725
2 鉱業	1.08988	0.894948	1.083719	0.891981	0.1134434	0.0664377
3 食料品	1.234829	0.844285	1.330311	0.888604	1.4785653	1.2393032
4 繊維製品	0.917157	0.750278	0.953444	0.763018	-0.7730371	0.3361900
5 ハルフ・紙・木製品	1.147587	1.040568	1.183518	1.076999	-0.6147006	-0.6858721
6 化学製品	1.011376	0.840105	1.056668	0.98794	-0.8723484	3.1899153
7 石油・石炭製品	1.061678	0.74049	0.979612	0.755656	1.6220015	-0.4046614
8 窯業・土石製品	1.128659	0.891841	1.114265	0.939651	0.2552573	-0.9545089
9 鉄鋼	1.073271	0.727381	1.116141	0.747327	-0.7802641	0.5441186
10 非鉄金属	0.986972	0.729918	0.894066	0.745435	1.9969183	-0.4198311
11 金属製品	0.899098	0.77453	0.898202	0.800754	0.0199430	-0.6637353
12 一般機械	0.958155	0.758619	0.898111	0.779422	1.3027304	-0.5395978
13 電気機械	0.939007	0.765505	0.980924	0.804325	-0.8696376	0.9844754
14 輸送機械	0.869104	0.737101	0.880264	0.752324	-0.2548560	0.4080085
15 精密機械	0.985265	0.739808	0.937044	0.749806	1.0096411	-0.2681162
16 その他の製造工業品	0.974646	0.90284	1.025707	0.946319	-0.106045	-0.9362768
17 建設	1.014405	1.063318	1.013758	1.009587	0.0127611	1.0424535
18 電力・ガス・熱供給	0.9787	1.147029	0.914896	1.127868	1.3662909	0.3374881
19 水道・廃棄物処理	0.941379	0.868139	0.950579	0.845159	-0.1943200	0.5379833
20 商業	0.934184	1.62181	0.962444	1.572867	-0.5942764	0.6147366
21 金融・保険	0.934858	1.591197	0.958692	1.32024	-0.5022387	3.8048296
22 不動産	0.84311	0.99302	0.866844	1.047828	0.5536933	-1.0687266
23 運輸	1.112604	1.835921	0.985692	1.396337	2.7907759	5.6264658
24 通信・放送	0.983537	1.082889	0.963446	1.050197	0.4136294	0.6149773
25 公務	0.917208	0.807317	0.916939	0.800962	0.0058467	-0.5732966
26 教育・研究	0.860189	1.078085	0.879202	1.036425	-0.3362964	0.8025113
27 医療・保健・社会保障	0.94888	0.747788	0.959317	0.747538	-0.2185455	0.0066877
28 その他の公共サービス	0.980318	0.81081	0.972147	0.78757	0.1675398	0.5833246
29 対事業所サービス	0.9767	2.390388	0.971348	2.390743	0.1099553	-0.0929700
30 対個人サービス	1.01287	0.805915	1.002965	0.845509	1.967387	0.9546249
31 事務用品	1.129471	0.797716	1.165988	0.817128	-0.6180209	-0.4765233
32 分類不明	1.066785	0.931441	1.100785	0.963698	0.6255176	-0.6785885



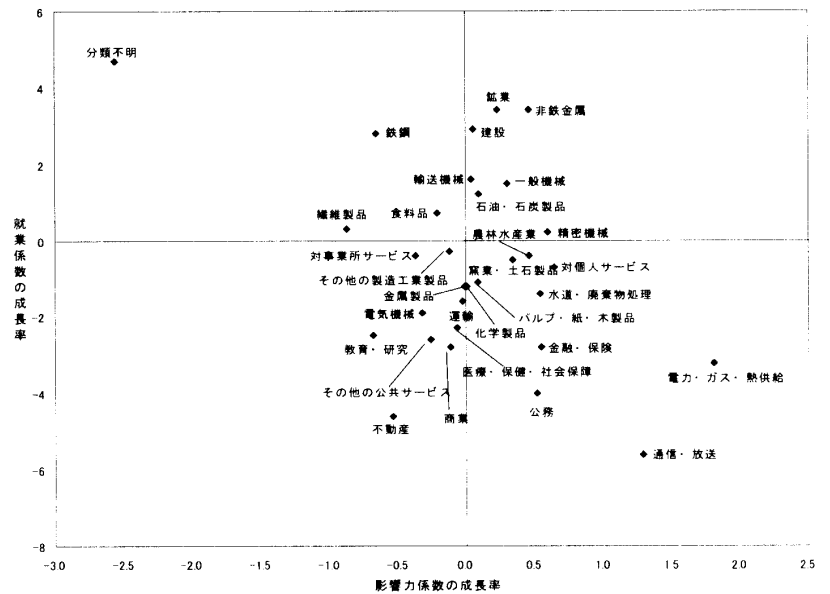
鹿児島

	1995 年		1990 年		年平均成長率 (%) (増減率)	
	影響力係数	感応度係数	影響力係数	感応度係数	影響力係数	感応度係数
1 農林水産業	1.05975	1.193834	1.078589	1.269169	-0.3519226	1.216380
2 鉱業	1.151679	1.035092	1.09927	1.052391	0.935843	-0.3309393
3 食料品	1.22159	0.906411	1.24471	1.010941	-0.3742834	-2.1592279
4 繊維製品	0.921793	0.754365	0.972427	0.753823	1.0637878	0.0143759
5 ハルフ・紙・木製品	1.075308	1.006682	1.108559	1.071334	0.6072257	-1.2703336
6 化学製品	1.010563	0.778451	0.996117	0.769535	0.2883782	-0.2306578
7 石油・石炭製品	1.043311	0.756174	1.088271	0.746598	1.0215032	-0.2552175
8 窯業・土石製品	1.090684	0.885557	1.04442	0.899043	0.8706345	-0.3018244
9 鉄鋼	0.968904	0.759541	0.960302	0.75531	0.1356595	0.1117833
10 非鉄金属	1.234673	0.737551	1.125045	0.730202	1.8770619	-0.2004813
11 金属製品	0.920935	0.791547	0.917239	0.784979	0.0804601	0.1667848
12 一般機械	0.923042	0.759716	0.919108	0.744104	0.0854586	0.4161409
13 電気機械	0.948561	0.756352	0.929772	0.751939	0.4009357	0.117102
14 輸送機械	0.899257	0.743868	0.844829	0.747187	0.324013	0.0889881
15 精密機械	0.951329	0.735267	0.916848	0.731908	0.7410977	0.0916195
16 その他の製造工業品	0.969196	0.908033	0.986753	0.902239	-0.358414	0.1501515
17 建設	1.013936	1.0554	1.023938	1.049843	0.1963112	0.10564
18 電力・ガス・熱供給	1.038307	1.286453	0.963151	1.193909	1.5140794	1.5043232
19 水道・廃棄物処理	0.984298	0.863558	0.978733	0.847698	0.1134607	0.6092297
20 商業	0.941856	1.663503	0.98677	1.516453	0.9275055	1.8682691
21 金融・保険	0.973394	1.794036	0.978078	1.532602	-0.0659637	3.2001558
22 不動産	0.855367	0.90164	0.801212	1.069113	0.8176731	-3.3499881
23 運輸	1.059213	1.965815	1.075259	1.879263	0.300256	-0.9046119
24 通信・放送	0.974475	1.047371	0.936982	1.063681	0.7670886	0.3085693
25 公務	0.909287	0.733974	0.88013	0.7201	0.653952	0.1058979
26 教育・研究	0.856232	1.044799	0.855497	0.967278	0.0171771	1.5538255
27 医療・保健・社会保障	0.93307	0.754432	0.931428	0.731787	0.0352329	0.6113745
28 その他の公共サービス	0.928599	0.847924	0.961752	0.770281	-0.689147	1.9392769
29 対事業所サービス	0.96938	1.964364	0.975667	2.155882	-0.1177144	1.843425
30 対個人サービス	1.007958	0.799116	1.018732	0.79901	0.2124184	0.0026531
31 事務用品	1.086997	0.80108	1.133218	0.796484	-0.820919	1.1514118
32 分類不明	1.075596	0.967096	1.127181	1.184114	0.8589483	3.9881679

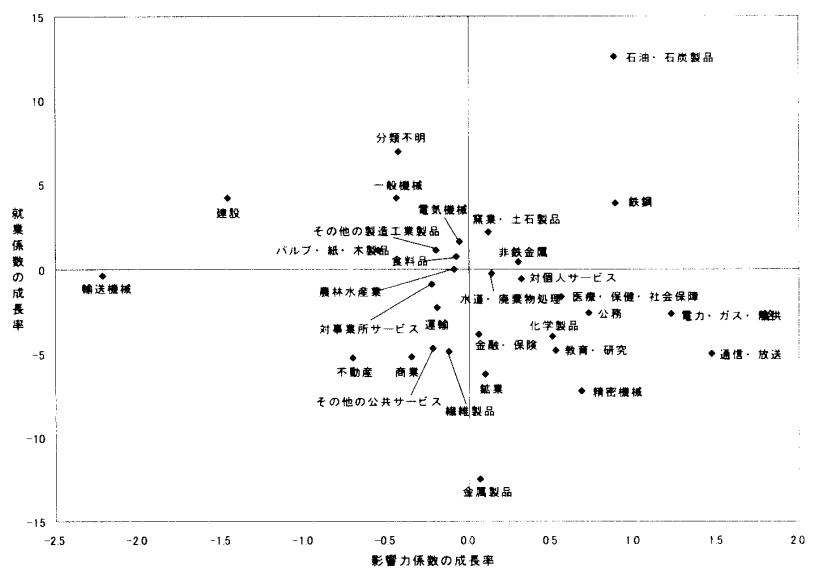


図表2、影響力係数と就業係数の成長率

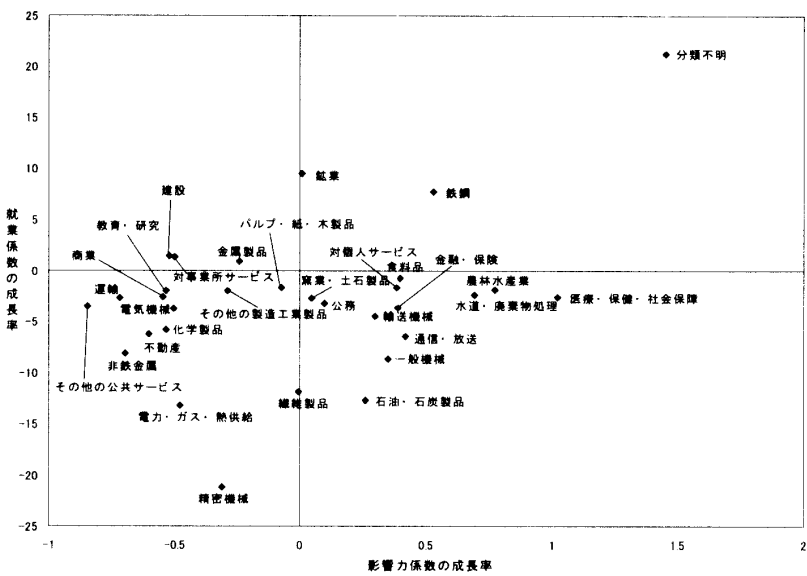
全国	影響力係数の成長率	就業係数の成長率
1 農林水産業	0.4607490	-0.4
2 鉱業	0.2297264	3.4
3 食料品	-0.2119138	0.7
4 繊維製品	-0.8710379	0.3
5 パルプ・紙・木製品	0.0842977	-1.1
6 化学製品	0.0071058	-1.2
7 石油・石炭製品	0.0914314	1.2
8 窯業・土石製品	0.3380330	-0.5
9 鉄鋼	-0.6548418	2.8
10 非鉄金属	0.4601231	3.4
11 金属製品	-0.9145519	-1.2
12 一般機械	0.3037853	1.5
13 電気機械	-0.3227479	-1.9
14 輸送機械	0.0361055	1.6
15 精密機械	0.5921762	0.2
16 その他の製造工業製品	-0.1261569	-0.3
17 建設	0.0542233	2.9
18 電力・ガス・熱供給	1.8104349	-3.2
19 水道・廃棄物処理	0.5393384	-1.4
20 商業	-0.1167695	-2.8
21 金融・保険	0.5481128	-2.8
22 不動産	-0.5371419	-4.6
23 運輸	-0.0300302	-1.6
24 通信・放送	1.2884040	-5.6
25 公務	0.5190297	-4
26 教育・研究	-0.6806273	-2.5
27 医療・保健・社会保障	-0.0657975	-2.3
28 その他の公共サービス	-0.2600761	-2.6
29 対事業所サービス	-0.3660513	-0.4
30 対個人サービス	0.6398915	-0.7
31 分類不明	-2.5621364	4.7



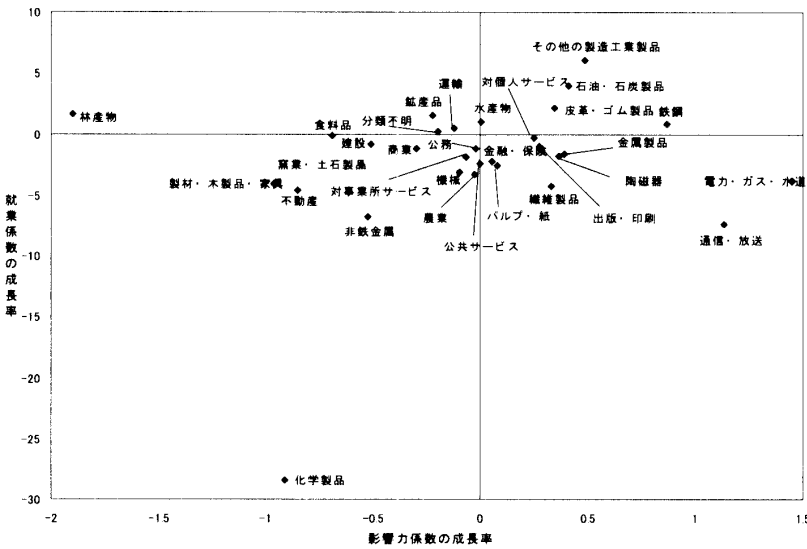
福岡	影響力係数の成長率	就業係数の成長率
1 農林水産業	-0.0910533	0
2 鉱業	0.0990944	-6.2
3 食料品	-0.0749076	0.7
4 繊維製品	-0.1174929	-4.9
5 パルプ・紙・木製品	-0.5454212	1.1
6 化学製品	0.5090295	-4
7 石油・石炭製品	0.8822850	12.6
8 窯業・土石製品	0.1153374	2.2
9 鉄鋼	0.8884265	3.9
10 非鉄金属	0.2997108	0.4
11 金属製品	0.0657298	-12.5
12 一般機械	-0.4388909	4.2
13 電気機械	-0.0541726	1.6
14 輸送機械	-2.2178929	-0.4
15 精密機械	0.6812689	-7.2
16 その他の製造工業製品	-0.1997522	1.1
17 建設	-1.4576025	4.2
18 電力・ガス・熱供給	1.2224876	-2.7
19 水道・廃棄物処理	0.1483071	-0.3
20 商業	-0.3482168	-5.2
21 金融・保険	0.0584794	3.9
22 不動産	-0.7012816	-5.3
23 運輸	-0.1948635	-2.3
24 通信・放送	1.4675293	-5
25 公務	0.7282450	-2.6
26 教育・研究	0.5254745	-4.8
27 医療・保健・社会保障	0.5560803	-1.7
28 その他の公共サービス	-0.2162248	-4.7
29 対事業所サービス	-0.2248092	-0.9
30 対個人サービス	0.3202567	-0.6
31 分類不明	-0.4276395	7



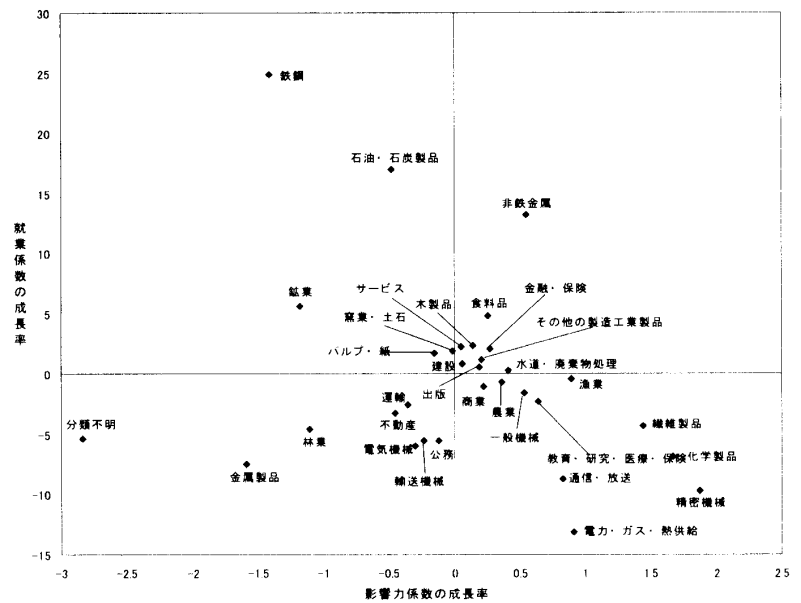
佐賀	影響力係数の成長率	就業係数の成長率
1 農林水産業	0.772875917	-1.9
2 鉱業	0.006434817	9.5
3 食料品	0.395243365	-0.7
4 繊維製品	-0.003838233	-11.9
5 パルプ・紙・木製品	-0.072159111	-1.7
6 化学製品	-0.532848374	-5.8
7 石油・石炭製品	0.260375184	-12.7
8 窯業・土石製品	0.045644829	-2.7
9 鉄鋼	0.528857379	7.7
10 非鉄金属	-0.695533477	-8.1
11 金属製品	-0.242190056	0.9
12 一般機械	0.356972425	-8.6
13 電気機械	-0.503224303	-3.7
14 輸送機械	0.29883119	4.5
15 精密機械	-0.309011699	21.1
16 その他の製造工業製品	-0.28630479	-2
17 建設	-0.518419279	1.5
18 電力・ガス・熱供給	-0.476125751	-13.2
19 水道・廃棄物処理	0.690875367	-2.4
20 商業	-0.546143197	-2.6
21 金融・保険	0.388635671	-3.6
22 不動産	-0.600802899	-6.3
23 運輸	-0.717262227	-2.7
24 通信・放送	0.420023778	-6.5
25 公務	0.097888016	-3.2
26 教育・研究	-0.533510163	-2
27 医療・保健・社会保障	1.023622129	-2.6
28 その他の公共サービス	-0.843857891	-3.5
29 対事業所サービス	-0.500460875	1.4
30 対個人サービス	0.365096291	-1.7
31 分類不明	1.450619271	21.2



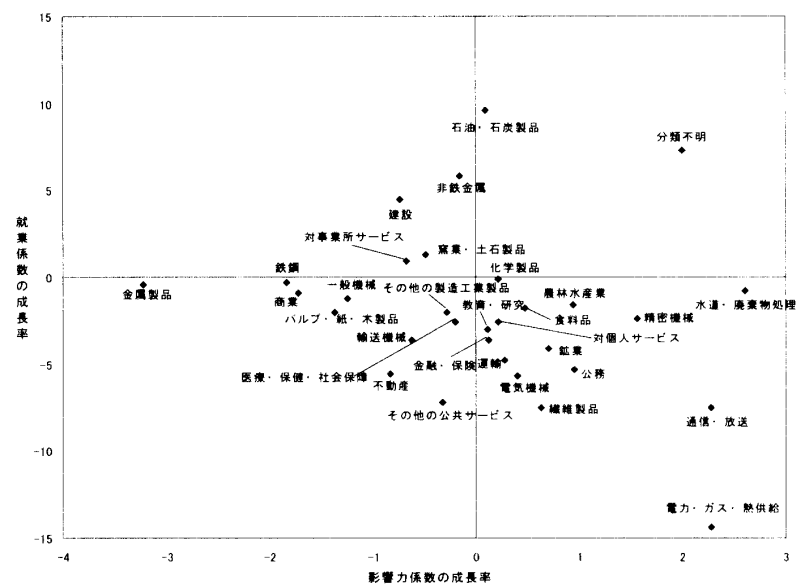
長崎	影響力係数の成長率	就業係数の成長率
1 農業	-0.028123654	-3.3
2 林産物	-1.901918211	1.6
3 水産物	0.003590194	1
4 鉱産物	-0.221025896	1.5
5 食料品	-0.689738912	-0.1
6 繊維製品	0.329827033	-4.2
7 製材・木製品・家具	-0.959749871	-4.1
8 パルプ・紙	0.076703911	-2.6
9 出版・印刷	0.275919332	-1
10 皮革・ゴム製品	0.347246561	2.1
11 化学製品	-0.911068722	-28.4
12 石油・石炭製品	0.412226252	4
13 陶磁器	0.362828528	-1.8
14 窯業・土石製品	-0.55394061	-2.5
15 鉄鋼	0.865516742	0.8
16 非鉄金属	0.523702525	-6.8
17 金属製品	0.392662491	-1.6
18 機械	-0.09581202	-3.1
19 その他の製造工業製品	0.484910185	6.1
20 建設	-0.507237274	-0.8
21 電力・ガス・水道	1.452145672	-3.8
22 商業	-0.297504423	-1.2
23 金融・保険	0.055094596	-2.2
24 不動産	0.848537636	-4.6
25 運輸	0.123691521	0.5
26 通信・放送	1.131239742	-7.4
27 公務	-0.026507488	-1.2
28 公共サービス	-0.000489568	-2.4
29 対事業所サービス	-0.067091198	-1.9
30 対個人サービス	0.247562948	-0.3
31 分類不明	-0.198151913	0.2



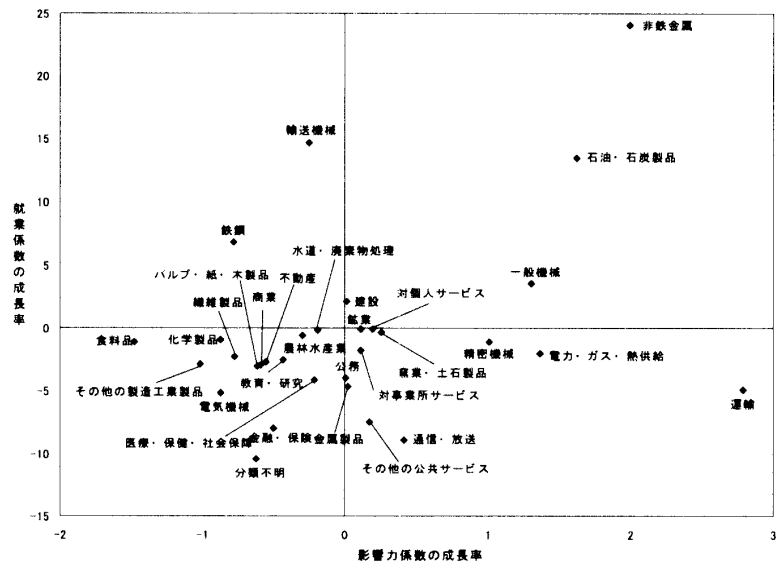
熊本	影響力係数の成長率	就業係数の成長率
1 農業	0.363152257	-0.7
2 林業	-1.103886129	-4.6
3 漁業	0.889634104	-0.4
4 鉱業	-1.183275453	5.6
5 食料品	0.257141495	4.8
6 繊維製品	1.437066362	-4.3
7 木製品	0.140449756	2.3
8 パルプ・紙	-0.149233159	1.7
9 出版・印刷	0.193830594	0.6
10 化学製品	1.668388916	-6.9
11 石油・石炭製品	-0.481968981	17
12 窯業・土石	-0.010427936	1.9
13 鉄鋼	-1.407251152	24.9
14 非鉄金属	0.549441139	13.2
15 金属製品	-1.58469412	-7.5
16 一般機械	0.536993879	-1.6
17 電気機械	0.295076431	-6
18 輸送機械	-0.236197707	-5.5
19 精密機械	1.878656382	-9.7
20 その他の製造工業製品	0.210537728	1.2
21 建設	0.060803623	0.8
22 電気・ガス・熱供給	0.912030137	-13.1
23 水道・廃棄物処理	0.408493385	0.3
24 商業	0.221376321	-1
25 金融・保険	0.269282135	2.1
26 不動産	-0.450395338	-3.2
27 運輸	-0.353761467	-2.5
28 通信・放送	0.826019886	-8.7
29 公務	-0.123003523	-5.5
30 教育・研究・医療・保険	0.635973036	-2.3
31 サービス	0.049149208	2.2
32 分類不明	-2.835461855	-5.4



大分	影響力係数の成長率	就業係数の成長率
1 農林水産業	0.941955621	-1.6
2 鉱業	0.696880451	-4.1
3 食料品	0.470766453	-1.8
4 繊維製品	0.624655524	-7.5
5 パルプ・紙・木製品	-1.370239903	-2
6 化学製品	0.217899988	-0.1
7 石油・石炭製品	0.090061203	9.6
8 窯業・土石製品	-0.494604418	1.3
9 鉄鋼	-1.838751513	-0.3
10 非鉄金属	-0.156644048	5.8
11 金属製品	-3.222891118	-0.4
12 一般機械	-1.249452495	-1.2
13 電気機械	0.400739288	-5.7
14 輸送機械	-0.625921871	-3.6
15 精密機械	1.558000985	-2.4
16 その他の製造工業製品	-0.282022318	-2
17 建設	-0.737037511	4.5
18 電力・ガス・熱供給	2.276030572	-14.4
19 水道・廃棄物処理	2.608154635	-0.8
20 商業	-1.719221079	-0.9
21 金融・保険	0.122908795	-3.6
22 不動産	-0.831661483	-5.6
23 運輸	0.275288291	-4.8
24 通信・放送	2.273729268	-7.3
25 公務	0.948665978	-5.3
26 教育・研究	0.111189376	-3
27 医療・保健・社会保障	-0.198781874	-2.6
28 その他の公共サービス	-0.328668165	-7.2
29 対事業所サービス	0.680641031	0.9
30 対個人サービス	0.217485765	-2.6
31 分類不明	1.991498987	7.3



宮崎	影響力係数の成長率	就業係数の成長率
1 農林水産業	-0.300516933	-0.6
2 鉱業	0.13443381	0.1
3 食料品	-1.478565279	-1.1
4 繊維製品	-0.773037065	-2.3
5 パルプ・紙・木製品	-0.614700576	-3.1
6 化学製品	-0.87234839	-1
7 石油・石炭製品	1.622001497	13.5
8 窯業・土石製品	0.255257288	-0.4
9 鉄鋼	-0.78026412	6.8
10 非鉄金属	1.996918337	24.1
11 金属製品	0.019943013	-4.7
12 一般機械	1.302730381	3.5
13 電気機械	-0.869637599	-5.2
14 輸送機械	-0.254856021	14.7
15 精密機械	1.008661056	1.1
16 その他の製造工業製品	-1.016064466	-2.9
17 建設	0.01276113	2.1
18 電力・ガス・熱供給	1.366290931	-2.1
19 水道・廃棄物処理	-0.194319976	-0.2
20 商業	-0.594276384	-3
21 金融・保険	-0.502238729	-8
22 不動産	-0.533693316	-2.7
23 運輸	2.790775946	-4.9
24 通信・放送	0.41362944	-8.9
25 公務	0.005866659	-4
26 教育・研究	-0.436296357	-2.6
27 医療・保健・社会保障	-0.218545465	-4.2
28 その他の公共サービス	0.167539816	-7.5
29 対事業所サービス	0.109955306	-1.8
30 対個人サービス	0.196738723	-0.1
31 分類不明	-0.625517625	-10.4



鹿児島	影響力係数の成長率	就業係数の成長率
1 農林水産業	-0.351922579	-2.4
2 鉱業	0.93584297	-1.2
3 食料品	-0.37428345	2
4 繊維製品	-1.06378767	-8.4
5 パルプ・紙・木製品	-0.607225719	0.4
6 化学製品	0.286378206	-7.7
7 石油・石炭製品	-1.021503154	-4.8
8 窯業・土石製品	0.870634465	-4.4
9 鉄鋼	0.135050468	-7.7
10 非鉄金属	1.877061868	-4.3
11 金属製品	0.080460102	-6.6
12 一般機械	0.08545855	-4.3
13 電気機械	0.400935697	-3
14 輸送機械	0.324013007	5.1
15 精密機械	0.741097711	-8
16 その他の製造工業製品	-0.358414018	-0.1
17 建設	-0.196131233	3.3
18 電力・ガス・熱供給	1.51407938	0.6
19 水道・廃棄物処理	0.113460691	1.9
20 商業	-0.927505486	-0.9
21 金融・保険	0.095963686	3.9
22 不動産	-0.817673068	-3.7
23 運輸	-0.300255992	-3.6
24 通信・放送	0.767088608	-4.6
25 公務	0.653952031	-3.6
26 教育・研究	0.017177092	-3.8
27 医療・保健・社会保障	0.035232855	-2.5
28 その他の公共サービス	-0.699137035	-9.8
29 対事業所サービス	-0.117714417	0.6
30 対個人サービス	-0.212418364	-1.4
31 分類不明	-0.858948347	-8.9

